

# 2-3

## 走りやすい路面

# 『快適路面利用率』

平成17年度  
達成状況の報告

平成18年度  
事業計画

安全で快適な走行環境

安全で快適な歩行環境

地域間および港湾・空港との連携

### 計画 Plan 平成17年度成果目標

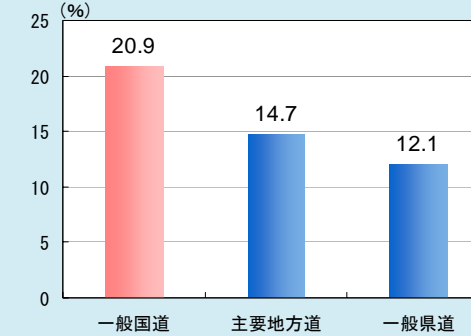
実績値H16	82.9 %
目標値H17	平成16年度の水準(82.9%) を概ね維持

- 劣化の生じた区間を適切に抽出し、補修を実施します。
- 平成16年度の水準を概ね維持します。

#### 現状と課題

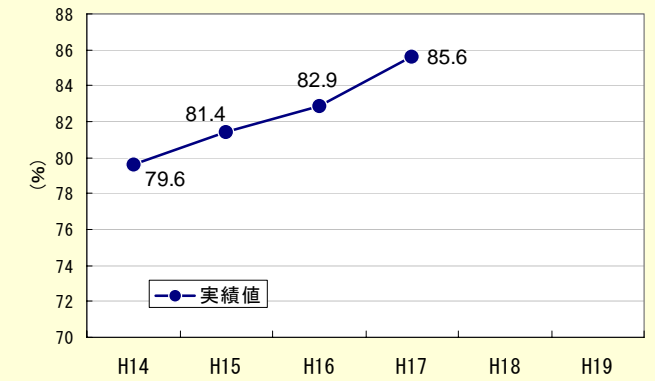
適切な路面補修により、  
快適な走行を維持していくことが課題

- 道路の路面は日々の交通利用により劣化します。特に重量のある大型車による影響が大きいとされています。
- このため大型車混入率の高い一般国道では、適切な路面管理がより重要となります。



図：道路種類別の大型車混入率  
出典：H17道路交通情勢調査

#### 快適路面利用率の推移



- 指標の算出対象道路：一般国道
- 指標の算出方法：  
快適路面利用率=わだちなどがなく快適で安全に走行可能な道路を利用している交通量÷全体の交通量

### 実施 Do 平成17年度の取り組み 適切な補修を実施しました

- 直轄国道では、茨城町小幡北をはじめとして、14箇所・計16.6kmの補修を実施しました。

表：路面補修の整備状況(H17) (直轄国道)

NO.	路線名	区間	計画延長 (km)	実施延長 (km)	H17年実施状況
1	一般国道6号	茨城町小幡	1.1	1.1	○
2	一般国道6号	茨城町小幡北	1.7	1.7	○
3	一般国道6号	高萩市赤浜	1.5	1.5	○
4	一般国道6号	石岡市国府	0.8	0.8	○
5	一般国道6号	東海村石神外宿	1.0	0.9	△
6	一般国道6号	日立市大和田町	1.0	1.0	○
7	一般国道50号	水戸市三湯	1.2	1.2	○
8	一般国道50号	水戸市内原町杉崎	1.5	1.5	○
9	一般国道50号	筑西市飯島	0.7	0.7	○
10	一般国道50号BP	水戸市河和田町	1.4	1.7	○ (見川町に区間変更)
11	一般国道50号BP	水戸市笠原町	1.2	1.2	○
12	一般国道51号	銚田市沢尻	1.3	0.9	△
13	一般国道51号	水戸市六反田町	0.8	0.8	○
14	一般国道51号	水戸市東台	0.7	1.6	○
15	一般国道51号	大洗町大貫町	0.9	-	-
合計			16.0	16.6	



図：路面補修の整備状況(H17)

### 計画 Plan 平成18年度成果目標

#### 今後の方針と指標の取り扱いについて

本年度より、一般国道の路面補修については必要最小限とする方針へと変更します。

このため、積極的な取り組みとは位置づけにくくなることから、アウトカム指標『快適路面利用率』は本年度までとします。

#### 平成18年度の目標

上記の方針を踏まえ、快適に走行できる水準を概ね確保したと考えられることから、平成18年度以降の目標は設定しないものとします。  
ただし、必要と判断される補修は実施していきます。

実績値H17	85.6 %
目標値H18	設定しない
目標値H19	設定しない

### 評価 Check 平成17年度の達成状況

- 平成17年度は快適路面率85.6%となり、目標を達成しました。
- 一般国道については、過去の水準を考慮すると、快適に利用できる水準に概ね達したものと考えられます。

目標値H17	平成16年度の水準(82.9%) を概ね維持
実績値H17	85.6 %
達成状況	目標達成

『路面状況の把握』  
「路面性状計測車両」(右写真)を用いて路面性状(ひびわれ、わだち掘れ、平坦性)を把握します。



写真：路面性状計測車両

出典：国土交通省関東技術事務所ホームページ

#### 反映 Action

快適に走行できる  
水準を概ね確保(国道)

限られた予算を踏まえ、  
路面補修の実施は  
必要最小限に抑制する。

